

卒業生・新入生へのメッセージ

この1、2年の間に、奈良教育大学にとって節目となる出来事が続いています。まず平成20年度は、本学がその前身である奈良師範学校開校の明治21（1888）年から数えて120周年を迎えました。また平成21年度は、奈良学芸大学開学の昭和24（1949）年から数えて60周年を迎えます。昨春秋の大学祭のテーマは、創立120周年にちなんで「120ページ目」でした。120ページ目に何を書き込もうかという、若い皆さんのそんな意気込みが感じられた大学祭でした。

ところで、大学祭にはそれぞれの大学の思いや願いを込めた名前がつけられています。奈良教育大学では「輝覚祭（きぼうさい）」と呼ばれています。入学式や卒業式で歌われる学歌の冒頭の歌詞「天平の輝く覚（いらか）」に由来しています。

この歌詞にちなんだ訳ではありません。

んが、もう一つ、奈良県や奈良市にとっても、大きな節目の年がやってきます。それは平成22（2010）年の「平城遷都1300年」です。すでにさまざまな事業が計画されているのは、ご存知のことと思います。「天平の輝く覚」というと、奈良の東大寺や唐招提寺などが思い浮かびますが、平城宮跡や大学の東側に位置する春日山原始林などと併せて、世界遺産「古都奈良の文化財」として登録されていることはよく知られています。

大学の高畑キャンパス周辺には、このような伝統ある歴史文化遺産が、至る所に点在しています。卒業生の皆さんは、学生時代をこのような恵まれた環境の中で過ごした訳ですが、同じように、新入生の皆さんも大学での学びに励むとともに、奈良の歴史環境・自然環境に思いきり浸り切つて欲しいと思います。

まるでこの時期に合わせたかのように、昨春秋には校舎改築中の大学構内か

ら、「新薬師寺の巨大金堂跡」が出土しました。大学キャンパスの「足元」に、このような遺構があったことにただただ驚くばかりで、埋蔵文化財の発見という学術的な価値はもちろんですが、創建当時の新薬師寺をしのぶ遺構として、学内で開催された二度の「現地説明会」には、それぞれ二千人を超える方々が参加されました。遺構は既に保存のための埋め戻しを行いました。大学では、この遺構の保存や活用する方法等について、専門的立場から検討するための委員会を立ち上げています。

世界遺産が「ブーム」になって久しいのですが、「古都奈良の文化財」には「中国や朝鮮との交流によって日本の文化が大きく発展したこと」が遺産の一つの価値とされています。今年には遷都1300年の前年ですから、視野はさらに「藤原京から平城京へ」と拡がります。

7世紀はアジア、特に東アジアとの文化交流の盛んな時代であり、今の中国には唐という国、朝鮮半島には百済・高句麗・新羅という国々があり、今の日本では「倭（ヤマト）」から「日本」という国が成立する時代でした。

平城遷都1300年を控えて、あらためて奈良の歴史を振り返り、奈良から東アジアの未来を考える、いわば絶好の機会ととらえてはいかがでしょうか。これに先立ち奈良教育大学では、ユネスコ・スクールへの加盟（平成19年）とともに、文部科学省の「大学院教育改革支援プログラム」の採択を受けて、「地域と伝統文化」教育プログラム（平成19、21年度）を展開しています。教養科目や教科横断的な専門科目、世界遺産教育、「世界の中の奈良」（大学院）などが展開されています。それぞれの専門分野の学びに加えて、高い知性と豊かな教養を身につけて欲しいと思います。



柳澤 保徳
奈良教育大学 学長

3 【学長コラム】

卒業生・新入生へのメッセージ

学長 柳澤 保徳

4 奈良教育大学創立120周年記念式典を挙

6 正規教員採用率全国第3位！学生の夢を支える就職支援室！

8 【大学の取り組み】

英国の大学における教員養成・教育実習

教職開発講座（教職大学院）教授 小柳和喜雄

9 【ラボ・レター】

児童の言語意識育成のために 個別具体の学びから

教職開発講座（教職大学院）教授 吉村 雅仁
理科教育講座 准教授 常田 琢

10 【ひと・あれ・これ】

成長し続けるために 26歳、これからの目標

奈良市立都祁小学校 堀井 崇晴
南都銀行本店営業部 吉岡 祐貴子

11 【留学生レポート】

ドイツ留学体験記 奈良での留学生生活

総合教育課程 生涯学習コース 4回生 井上 祐佳里
日本語・日本文化研修留学生 バゴウイチ ミリツワ

12 【課外活動】

きっかけはChange!! チームとして 未知の領域へ 花が教えてくれたこと

弓道部 部員 多田 宏一郎
硬式テニス部 主将 藤山 和也
地歌等曲部 部長 的場 雄樹
華道部 部長 今井 美里

14 【附属校園では】

幼稚園 広い園庭を使ったからだづくりに取り組んでいます

附属幼稚園 教諭 石田 晶子

小学校 附属小学校における食育

附属小学校 教諭 谷口 明子

中学校 ESDの理念にもとづく学校づくりの取り組み

附属中学校 主幹教諭 井村 健

16 【大学の仲間たち】

アオスジアゲハ

自然環境教育センター長 前田 喜四雄

表紙紹介

なつきよん

昨年10月に誕生した、本学イメージキャラクター「なつきよん」。

モチーフこそ奈良の象徴「シカ」とのことですが、その角は「新芽」になっており、どこかファンタジーで温かさがあふれ出るキャラクターになっています。制作者の本学卒業生・秋田菜穂子さん（平成19年度教育学部卒）は、「育つ、育てる」というイメージを角の新芽に込めました。今後は奈良教育大生とともに、のびのびと育つてほしいとのこと。

なつきよんの活躍の場はほとんどん広がりをみせています。デビューは昨秋の奈良もちいとのセンター街（奈良市）。大学祭をアピールするのが初仕事となりました。せんとくんブーム。一色の奈良のまちで、ひとときわ目立った大きな顔。観光客も「なんだ？」とカメラを向けるなど、大学祭の盛り上げに大きく貢献しました。その後、もさまざまな場面で活躍しています。

表紙は、本学附属幼稚園を訪問した際の1コマ。元氣いっぱい園児たちになつきよんも思わずたじろぎました！

本学学生のみならず、学外の方からの評判も、あの「せんとくん」にジワリと迫っているとかいけないとか。そんななつきよんの活躍は、下記ホームページからご覧いただけます。これからもなつきよんを応援してください！

表紙題字 名誉教授
池田 桂鳳

企画広報室

なつきよんのWEBサイト http://www.nara-edu.ac.jp/ADMIN/SECRETARY/image_character_nakkyon.html

ならやま
2009年春号

CONTENTS